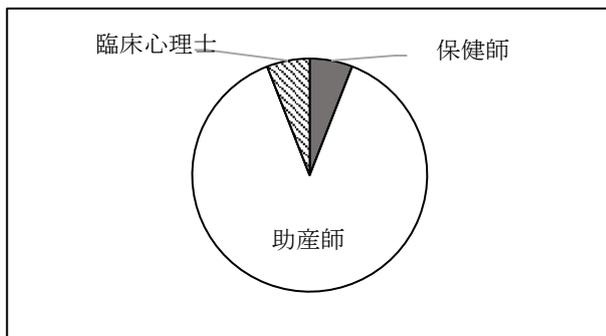


## 2. 助産師職能委員会

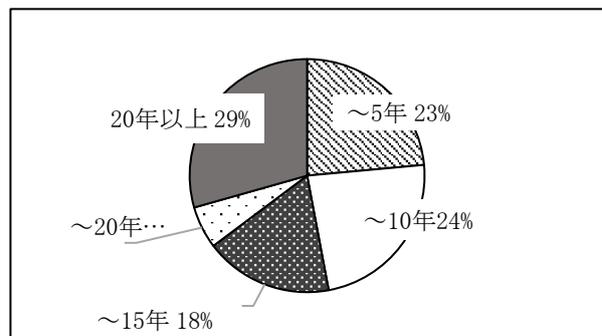
研修名	1)助産師職能委員会研修「不妊症・不育症患者の看護支援 ～専門家(医師)の講義と当事者の体験談から対象理解を深め、支援のあり方を考える～」	
開催日時	令和 5 年 9 月 28 日(木曜日)	時間 13:00～16:00
受講者数	22 名(会員:19 名・非会員:3 名)	定員 50 名
ねらい	1.不妊症・不育症の原因、治療、予後等に関する最近の知見と、不妊症・不育症患者の心理的特徴を理解することで、患者の相談・支援のあり方を考える基盤とする 2.初期流産、不妊から流産に至った当事者の語りから対象理解を深める	
話題提供	講 師 :レディスクリニックコスモス院長 桑原 章 話題提供者:2 名	
内容(キーワード)	助産師職能 不妊・不育の悩みをもつ女性の支援 CLoCMiP®レベルⅢ	講義・演習

1. アンケート結果 回答者数 17 名 回収率 77.3%

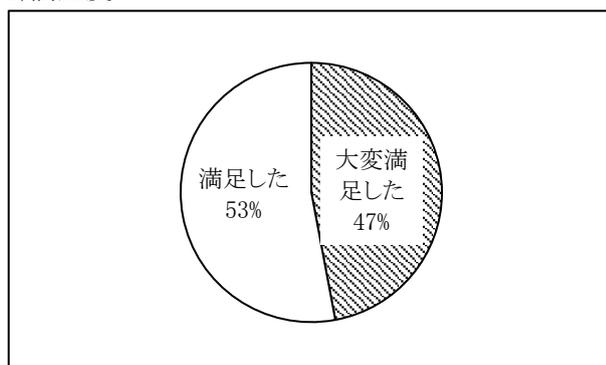
### 1)職種



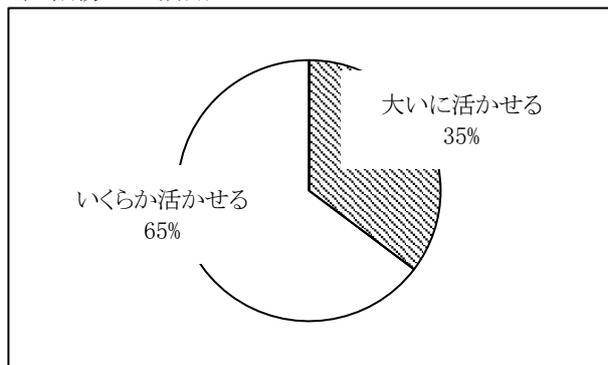
### 2)経験年数



### 3)満足度



### 4) 職務での活用



### 3) 満足度の理由について

- ・しばらく現場から離れていたため、学習の場になった。
- ・高知県の生殖医療の現状が知れた。(2名)
- ・施設間で不妊や、流産に対する看護について現状や 思いを共有できた。(4名)
- ・職場で悩んでいることに共感してもらえた。
- ・当事者のお話を聞くことができた。(5名)
- ・改めて自分の課題を知ることができた。
- ・不妊治療の現場や対象者が求めているニーズなどを知る機会になった。(2名)

### 4) 職務へ活用できる理由について

- ・地域活動で不妊に悩むお母さんの相談に役立てたい
- ・中期中絶のケアや死産のケアに活かしたい(2名)

- ・ 当事者の意見を現場に活かそうと思った。(2名)
- ・ 対象者の方と対話をする際には対象者の価値観に適した環境を整えたい。(2名)
- ・ 逃げない姿勢で関わろうと思った。(2名)
- ・ 不妊治療の情報が得られた。
  - ・ 高知は不妊治療も出産も限られた場所しかないこと、分娩施設の助産師として高知の現状を踏まえ、横のつながりを強化しケアをしていかなければならないと思いました。
  - ・ 今までの業務や考え方が振返られた。(2名)
  - ・ 流産を経験された方への支援の場や情報提供を行っていききたい
  - ・ 体験談から、よりリアルな当事者の思いを知ることができたから(2名)
  - ・ 「必要なケアは怠らない」とのお言葉は、とても参考になりました。侵襲的にはなりたくないけれど、安心して話したいという想いを皆さん抱えておられるのだと感じました。

#### 5) 本日の研修会の感想等

- ・ 貴重な話が聞けて、大変学びになりました。ありがとうございました。
- ・ 桑原先生をはじめ、当事者の意見、他施設の助産師や高知市の保健師さんとの交流の場になり多くの学びが得られました。貴重な時間をありがとうございました。
- ・ 不妊治療や、流産を経験された当事者の方のお話を聞いたこと、また先輩助産師さんや地域の保健師さんのお話を聞くことができ自分の成長につながる研修になったと思います。  
なかなかない機会だと思うので、参加できて自分の視点を広げられたのでとてもよかったです。
- ・ 意見交換の時間を十分に取ってもらったので有意義だった。
- ・ 経験を伝えていただきありがとうございました。お産の後のように労ってもらえなかったという言葉は胸に残りました。
- ・ とてもいろんな方と交流ができ良かった。
- ・ 参加させてくださりありがとうございました。話を聞くなかで、ふと男性への支援も必要なのではないかと思います。不妊治療は夫婦の協力が必要なため、女性と男性それぞれの思いを聞き、よりそっていく必要があると思いました。
- ・ 研修会開催ありがとうございました。
- ・ 郡部でも当事者が話せる場を作れたらいいなと思いました。ペリネイタルロスにも産後ケアとして関わられたらいいかなとも思いました。
- ・ 講義では、不妊治療、不育症の現状を知ることができ勉強になった。体験談を聞いて、私も相手の価値観を受け入れた上で大切にすること、対象者に配慮した環境整備と、あたたかい声掛けを意識して関わって行きたいと感じた。
- ・ 参加させて頂きありがとうございました。
- ・ 流産、死産された方に接して来て、「これでいいのか」「どうしたらいいのか」と思いながら接してきたが、体験者さんと話すことで、大切なことに気づけたと思います。貴重な話を聴かせていただき感謝しています。

#### 6) 職場での課題や今後の研修への希望

- ・ 不妊治療の実際を理解してするために、患者さんとのやりとりやケアのポイントなどを学びたい。
- ・ 心理士として、長期的、継続的なケアについてしっかり考えていきたいと思っています。
- ・ 医療的な情報と、当事者の方の想いやご経験、支援されるお立場からの視点などに触れさせて頂き勉強になりました。
- ・ 不妊治療に関する高知県の現状や課題が分かった。

#### 7) 研修担当者コメント

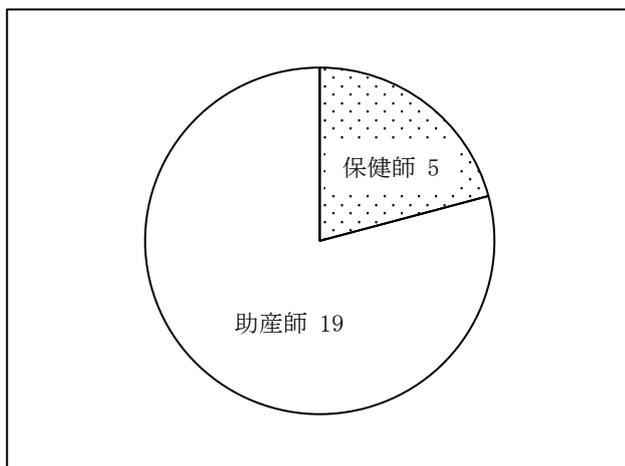
幸せな新生児の誕生と違い、不妊不育症の患者への看護は対象の悲嘆の表出という精神的なケアが必要となる。その上、臨床現場で遭遇する症例の少なさも、看護者の苦手意識を増大させる原因と考える。今回の研修会によって医学的知識と患者の声を共有できたことは、地域でのケアの場の工夫、連携につながることを期待する。

## 2. 助産師職能委員会

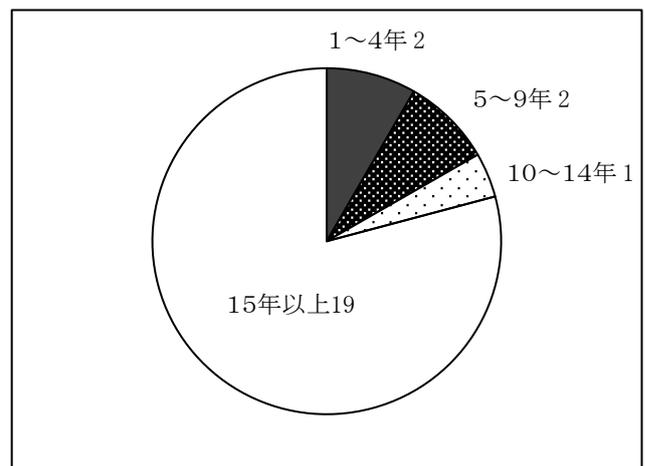
研修名	2)助産師交流会「助産師の輪を広げよう」 全ての母子に届ける産後ケア～伴走型支援について考える～	
開催日時	令和 5年 10月 28日(土曜日)	時間13:00～16:00
受講者数	28名 (会員:13名 ・非会員:15名 )	定員 60 名
ねらい	1. それぞれの助産師が活躍する場所での体験を話しすることで普段接することのない助産師の働き方などを知り、お互いに意見交換をする。 2. 全体交流からテーマにあった小集団での意見交換・交流を実施する。	
話題提供	話題提供者 病院助産師:奥田和代 母子保健コーディネーター:廣瀬梨佐 開業助産師:森木由美子 産婦として:松木由 河井舞	
内容(キーワード)	助産師 交流会 産後ケア 伴走型支援	グループワーク

1. アンケート結果 回答者数24名 回収率 85.7%

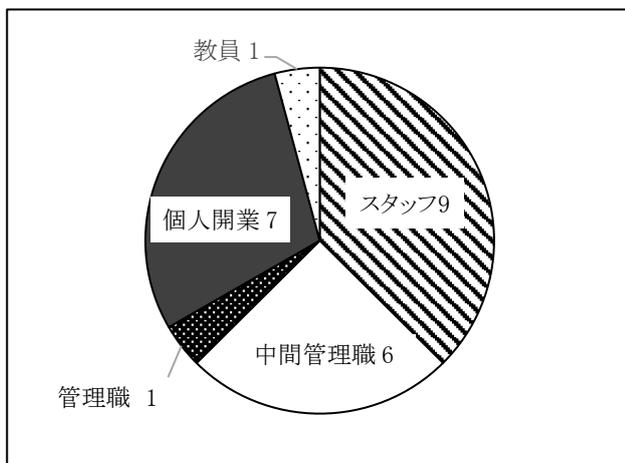
### 1) 職種



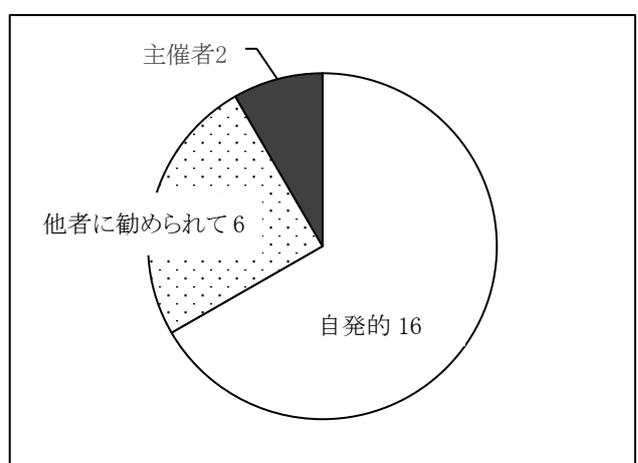
### 2) 経験年数



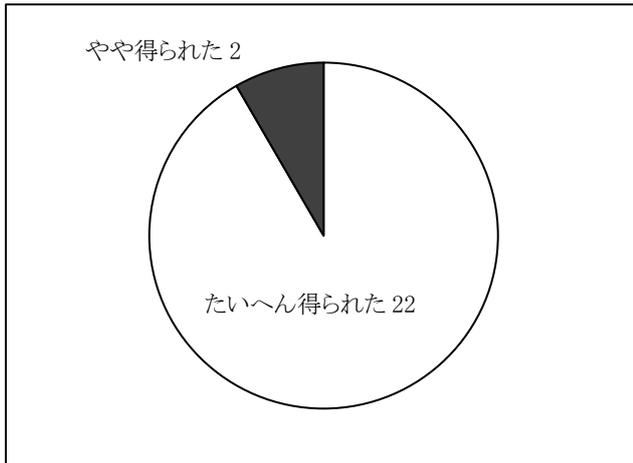
### 3) 職位



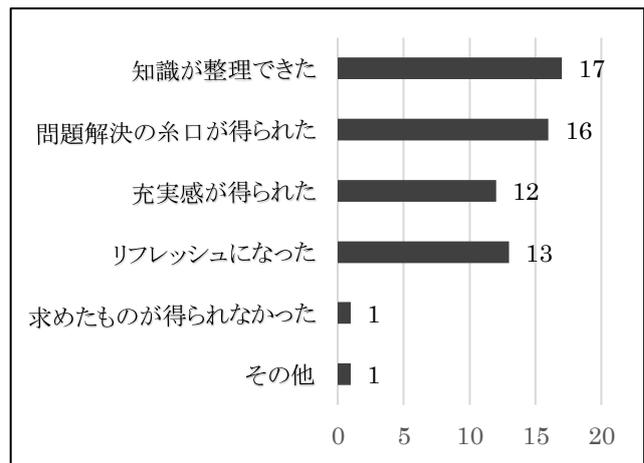
### 4) 参加のきっかけ



### 5) 今後の活動へのヒント



### 6) 研修の感想(選択式)



### 7) 交流会の感想(記述式)

- ・ 対面で、グループワークができてよかった。色々な情報交換ができました。
- ・ それぞれの立場のお話が聞けて今後の仕事に役立ちます(8名)
- ・ 他機関の沢山の助産師さんと共有でき、実りある研修になりました。
- ・ 発表者の方の話題提供や実体験、産後お母さんの意見を聞きとても参考になった。(2名)
- ・ 産後ケアの利用促進について、周知方法や利用方法に工夫が必要なのがわかった。検討していきたい。
- ・ 大変多くの学びを得たと共に、いろんな場で活躍される方と顔を合わせる機会となり、繋がりを持てた。
- ・ 楽しかった。
- ・ 様々な立場の方からお話しができたこと、産後ケアにそれぞれの立場で取り組まれていることが感じられ、高知県の産後ケアがもっと盛り上がるのではないかと嬉しく思いました。
- ・ 病院スタッフとして、入院中の妊産婦さんに対して産後ケアを重視して話をする機会もあまりなかったなと思いました。ニーズはあるけれど知識不足や、申請がめんどりでケアに手に届かない人なども多くいると思いましたので、少しでも多くの人に充実したケアを提供出来るように院内のみならず、地域の助産師さんや行政の方と連携しながら手広いケアが提供出来るようにしたいと思いました。
- ・ 色々な目線からの現場を知ることができました。協力をしながらでも高知の子育て支援をもっと盛り上げたい。統一した利用の流れや費用も含め、産後ケアはまず行政が頑張してほしい。(2名)

### 8) 今後の交流会や研修への希望

- ・ 産後ケアの利用促進のための、伴走型支援の研修はとても良かった。
- ・ 産後ケアを提供する施設同士の情報交換の場を、また設けて頂けると嬉しいです。(5名)
- ・ また、交流会できる形で、集まりたいです。(2名)
- ・ 高知県のどの地域にいても、安心して子育てができるように、産後ケアをはじめ、様々な支援を検討していきたいと思いました。
- ・ 実際に参加してみると色々な職種の現状を知ることができて楽しかった。
- ・ 今の自分が何をできるかも考える時間になりました。